

## 事業報告の訂正とお詫び

2014年4月1日から2018年3月31日までの事業報告の一部に、下記の通り誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

### 1. 訂正箇所

#### (1) 財産目録

負債の部の「未来基金」を削除し、正味財産の部の正味財産を別表1から4の通り訂正いたします。

#### (2) 貸借対照表

負債の部の「未来基金」を削除し、正味財産の部の正味財産を別表1から4の通り訂正いたします。

#### (3) 活動計算書

別表1から4の通り訂正いたします。(参考資料：未来基金の推移表)

### 2. 訂正理由

2015年6月27日開催の当法人の定期総会において、災害救援を志す若者に財政的な助成をすることを目的としたCODE未来基金を創設することが決議され、正味財産の一部(10,000,000円)を未来基金として個別管理することになりました。しかし、会計資料上での表現方法が不明のまま流動負債で処理してしまったことによるものです。

### 3. 経緯と原因

当法人は、組織の基盤を整え、活動を継続するためにも、現在、認定NPO法人取得に向けて準備をしております。その準備の段階で、所管の神戸市との協議の際に、この問題は発覚しました。すぐに専門の税理士にご協力いただき、これまでの会計を調査しました。その結果、経理ソフトにおける会計処理は適正に行われており、総会資料及び、神戸市への報告書を作成する段階で、経理ソフトではなく、手作業での作成でおこなったために、このような過ちが生じたとの結論に至りました。

### 4. 対応と今後

2018年度の事業報告は、今中壽一税理士(ひまわり会計事務所)によって適正に訂正され、所管の神戸市に提出し、了承をいただいております。また、2015年度から過去4年分の事業報告を別紙のように訂正いたしました。

平素よりご支援、ご協力いただいております正会員、賛助会員、寄付者の皆さま、関係者の皆さまにご迷惑をおかけしたことをこの場を借りて、お詫び申し上げます。誠に申し訳ありませんでした。今後は、会計ソフトと総会資料、神戸市への報告書の統一をはかり、このような誤りが以後起きないように理事、スタッフ一同、努力してまいります。引き続きよろしく願いいたします。

特定非営利活動法人 CODE 海外災害援助市民センター  
代表理事 室崎益輝